

市場業者へのヒアリング調査結果

1 仲卸業者、関連事業者

全事業者を対象に調査票を配付・回収するとともに、希望するすべての事業者に対し、ヒアリングを実施（12月1日（木）～14日（水））

区分	対象数 (A)	回収数 (B)	回収率 (B) / (A)	ヒアリング 実施数 (C)	実施率 (C) / (A)
水産・仲卸業者	558	193	34.6%	132	23.7%
青果・仲卸業者	97	77	79.4%	77	79.4%
関連事業者	153	85	55.6%	66	43.1%
合計	808	355	43.9%	275	34.0%

(1) 豊洲への設備導入等の状況

区分	状況
水産・仲卸業者	<ul style="list-style-type: none"> 設備投資は1事業者5万円～2,000万円。平均額は約500万円、主な内容はダンベ、ストッカー、水槽の購入。 他に造作工事が1事業者100万円～3,000万円。平均額は約370万円、主な内容はシャッターの取付け、事務所の間仕切りなど。
青果・仲卸業者	<ul style="list-style-type: none"> 設備を含む造作工事は1事業者40万円～1,200万円程度 平均額は約400万円、主な内容は、冷蔵庫（プレハブ冷蔵庫）、シンクの購入。
関連事業者	<ul style="list-style-type: none"> 影響が大きいのは、主に飲食業。店舗の内装、厨房機器、空調、冷蔵庫などに1事業者約1,200万円～約2,200万円を要している。

(主な意見)

- 発注した空調設備の納品を止めたところ、契約違約金を求められている。
- せっかく新規に購入したのに、使用時には全て中古品になってしまう。
- 一年も経つと、設備のメーカー保証期間が終了してしまう。投資したものの全て一旦、都が肩代わりして欲しい。
- 水槽やダンベを使用しないままで放置した場合、移転開場時に正常に動かさずどうか保障できないと納入業者から言われた。補償してくれるのか。

- 豊洲の店舗は、空調を作動させないとカビが発生してしまい、衛生上の問題が生じる。施設管理者の責任として、都が定期的に換気をしてほしい。
- 設備投資のための借入れで発生する利子を補償してもらいたい。
- 移転告知ポスター、ダイレクトメール費用が無駄になってしまった。
- 移転を機に事業を拡大するため新規雇用したが、延期により事業拡大が出来ない上、移転をにらむと雇用は継続せざるを得ず、負担になっている。
- 豊洲はイメージが悪く、風評被害も深刻。客が離れて商売にならないのではないかと不安を抱えている。現実客が減ったら補償してもらえるのか。

(2) 築地における老朽設備等の状況

区分	老朽化した設備の例
水産・仲卸業者	<ul style="list-style-type: none"> ・冷凍庫（隙間をガムテープで補強） ・冷凍ダンベ（冷えが悪くドライアイスを入れて使用） ・床面、すのこ（ネズミがかじっていくつもの穴）
青果・仲卸業者	<ul style="list-style-type: none"> ・プレハブ冷蔵庫（30年前に購入、不具合の修理不可能） ・空調機器（使用時に大量の水漏れ） ・床面（腐食が激しく営業に影響が出ている）
関連事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・冷蔵庫（扉が正常に閉まらない） ・ガス機器（本体が破損、使用継続が危険な状態）

(主な意見)

- 築地での営業継続には、老朽化した設備等の補修・修理・更新などが必要。
- 厨房のガス機器が破損し、バーナーが不完全燃焼するなど、危険性を指摘されながら使用してきた。繁忙期を乗り切るため、今すぐ発注をかけたい。
- 築地で事業を続けるため、豊洲市場に搬入した設備を移送して使用したいが、築地ではサイズが合わず、困っている。
- 最近、築地のイメージ悪化、ブランドの低下も気になっている。

2 卸売業者、業界団体

4 7 団体（個別にヒアリングを実施 11 月 26 日（土）～12 月 13 日（火））
（卸売業者 10 社、主要 6 団体、各団体を構成する業種別組合、関連事業者団体）

(1) 豊洲への設備導入等の状況

- 共同事業等による施設・設備整備（総投資額 239 億 100 万円）
 - ・ 冷蔵庫棟（7 街区）
 - ・ 冷蔵庫棟（6 街区）
 - ・ 情報通信システム（LAN）
 - ・ 卸売場低温化設備、共同食堂
 - ・ ろ過海水施設
 - ・ 自動立体低温倉庫等（青果）
 - ・ 物流システム・フォークリフト
 - ・ 転配送センター低温空調設備 等

（主な意見）

- 設備は通電して維持管理しないと結露などで故障に繋がる。その間の電気代等は都が負担して欲しい。
- 設備については、都がすべて買い取りを行うべきである。
- 社内独自システムや事務所で使用するパソコンやプリンタなどは 1 年で型落ちする。このような機器についてどう取扱うのか。
- 発注を止めた設置工事は、業者が資材を調達済であったため、資材保管料を請求されている。
- 豊洲での新規事業展開に向けて、新たに組織を立ち上げ、新規に人材を登用している。こうした費用はどうすればいいのか。
- 移転に向けたコンサル委託料を継続せざるを得ない。

(2) 築地における老朽設備等の状況

- 共同事業等で設置する設備の補修（主なもの）
 - ・ 冷温水機の修理
 - ・ 冷蔵庫棟防熱扉の修理
 - ・ 活魚水槽の改修
 - ・ 冷房設備、製氷機の修理 等

（主な意見）

- 老朽化した冷凍機は、夏場に故障すると大変なことになるので、今のうちにオーバーホールしておかないといけない。
- 共同で使うマグロの解体機は 20 年以上使用しており、ボロボロで限界の状態。修理代を補償してもらえらるのなら今すぐにでも直したい。
- 事務所内のエアコンが故障し、型が古すぎて修理が出来ず、寒い中、ダウンジャケット等厚着をして仕事している。